

3 まちづくりの体系

時代の潮流・背景

まちづくりを進めていくうえで、特に留意しなければならない現在の社会情勢を把握する。

- 1 少子・高齢化、人口減少の時代
- 2 経済の長期低迷と国・地方財政の悪化の時代
- 3 個人の価値観やライフスタイルの多様化の時代
- 4 グローバル化の時代
- 5 高度情報化の時代
- 6 環境共生の時代
- 7 地域の自主性及び自立性の時代
- 8 新たな地域間連携の時代

まちづくりの課題

時代背景や市民意識などから見えてくるまちづくりの課題を把握する。

- 1 生涯健やかで安全・安心に暮らせるまちづくり
- 2 人を大切にし、豊かな心と文化を育むまちづくり
- 3 人と自然が調和した快適で住みよいまちづくり
- 4 活力とにぎわいを生み出す元気なまちづくり
- 5 市民のために挑戦する市役所づくり



将来像

「生活充実都市・米子」

まちづくりの基本的視点

まちづくりを進めていくための基本となる視点。

- 1 「ひと」をまちづくりの中心とします
- 2 生活の質を高めます
- 3 将来に向かって発展する基盤をつくります
- 4 ともにまちづくりを進めます

まちづくりの目標

市政推進の柱となる基本的な目標を記述

1 『ひと』がいきいき

生涯健やかで安全・安心に暮らせるまちづくり

2 『こころ』がいきいき

人を大切にし、豊かな心と文化を育むまちづくり

3 『ふるさと』がいきいき

人と自然が調和した快適で住みよいまちづくり

4 『あした』がいきいき

活力とにぎわいを生み出す元気なまちづくり

まちづくりの基本方向

それぞれの目標を実現するための基本的な方針と内容を記述

- 1 市民一人ひとりの健康づくり
- 2 安心して子育てができる環境づくり
- 3 明るい長寿社会の実現
- 4 障がい者の自立の支援と社会参加の推進
- 5 災害に強い地域づくり
- 6 安全に暮らせる地域環境づくり
- 7 みんなで支えあう安心の地域づくり

- 1 互いの人権を尊重しあう社会の実現
- 2 男女がともに輝く社会の実現
- 3 豊かな心を育む学校教育の推進
- 4 青少年の健全育成
- 5 生涯学びあい、スポーツを楽しめる社会の実現
- 6 市民文化の振興と歴史的遺産の保存・活用

- 1 機能的で魅力あふれる都市環境づくり
- 2 快適でうるおいのある住環境づくり
- 3 環境共生・循環型の地域社会づくり
- 4 豊かな自然環境の保全と活用

- 1 地域を支える農業・漁業の振興
- 2 活力を生み出す商工業の振興
- 3 中心市街地の活性化
- 4 時代をひらく新たな産業の育成
- 5 観光拠点としての魅力の向上
- 6 企業立地の促進と雇用環境の整備
- 7 総合的な交通体系の整備
- 8 国際交流の推進
- 9 多様な交流と地域活力の創造

基本構想を推進するための市役所の取組み方針

『市役所』がいきいき

市民のために挑戦する市役所づくり

1 市民とのパートナーシップの推進

2 透明で開かれた市政の推進

3 主体的かつ効率的な行財政の運営

4 高度情報化の推進

5 広域連携の推進

6 国・県等関係機関との連携強化

まちづくりに関する市民アンケート調査の実施

平成 17 年、20 年、22 年の 3 回実施。
 毎回、市民 3,000 人に配付し、それぞれ 1,290 人、1,093 人、1,099 人から回答。
 (調査内容は調査年ごとに若干異なるが、概ね下記のとおり)
 ①現在の米子市の暮らし
 ②現在の満足度とまちづくりの重要度
 ③これからのまちづくりにおける市民と行政の役割、地域福祉など
 ④米子市が力を入れて取り組む分野

まちづくりワークショップの実施

「10 年後の米子市へ向けて～市民と行政による協働のまちづくり～」をテーマに、市民参画によるワークショップを開催
 10 代から 70 代の幅広い年齢層の市民が参加し、グループ討議
 ①米子市の現状で感じること
 ②米子市の将来像
 ③将来像を実現するための方策及び市民と行政との役割分担

まちづくりの基本指標

人口や世帯数、土地利用などの基本的な指標の将来推計を行うことで、まちづくりを推進していくための事業や施策の目標水準を設定